

経営比較分析表（令和4年度決算）

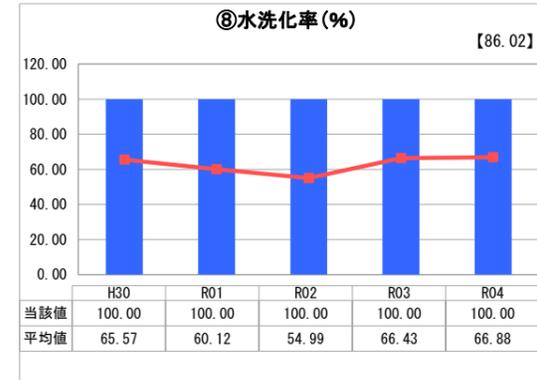
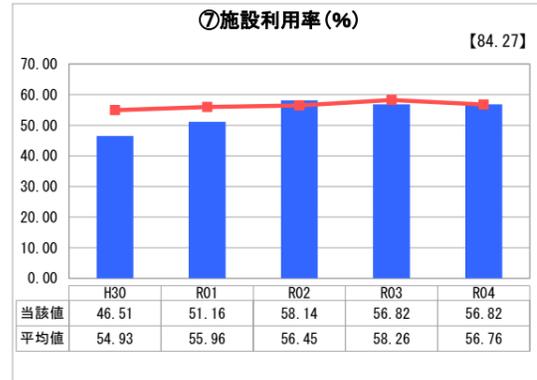
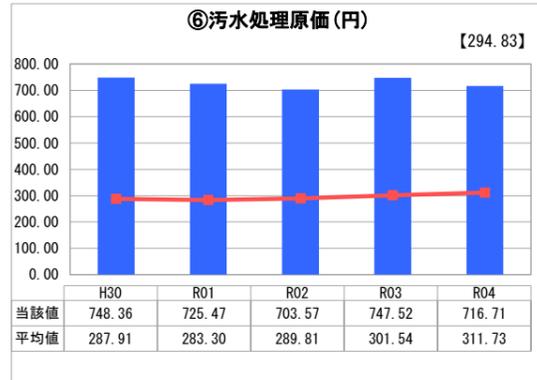
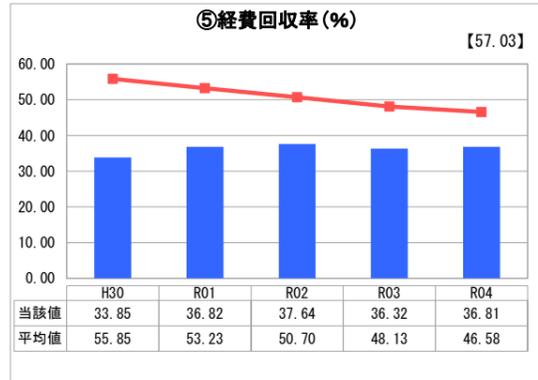
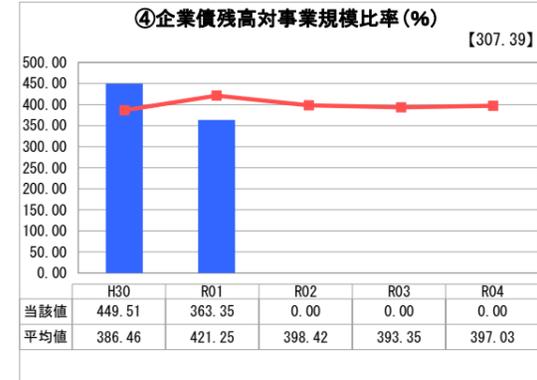
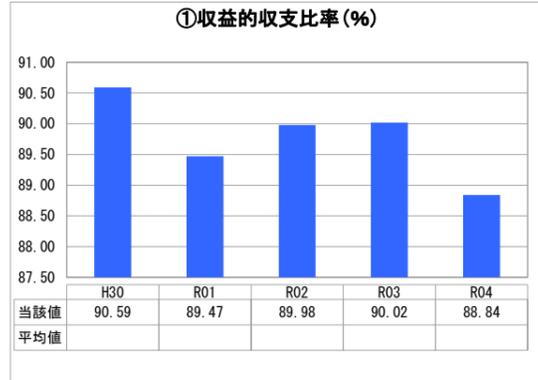
埼玉県 吉見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.47	100.00	3,300

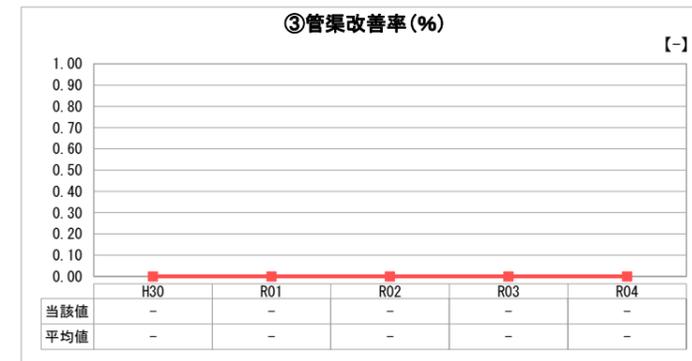
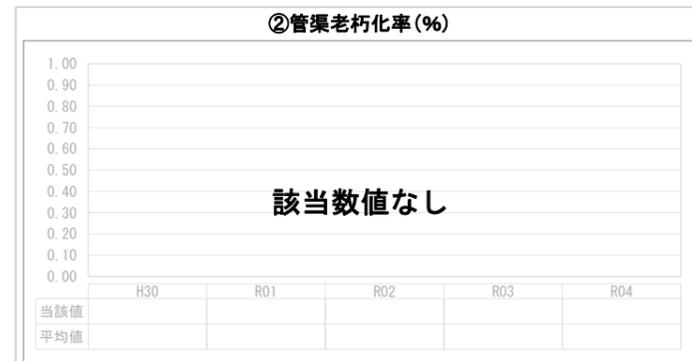
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,117	38.64	468.87
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
84	0.01	8,400.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
大きな変化はなく推移している。今後20から30年後に浄化槽が耐用年数を経過し始めるので、維持管理費の増大を見据えて、経費の節減と計画的な維持管理がより一層必要となる。

④企業債残高対事業規模比率
地方債現在高と一般会計負担額が同額のため、令和2年度以降0%となっている。

⑤経費回収率
設置基数に大きな変化がないことから令和2年度以降はほぼ横ばいである。

⑥汚水処理原価
700円代前半で推移している。令和4年度は前年度比30.81円の減少となった。有収水量が576m³増加しており、これが主な要因である。

⑦施設利用率
令和2年度以降50%代後半で推移している。令和4年度は前年度と同率である。令和元年度以降新規設置は年間1基又は未設置であることから、大きな変動はない。

⑧水洗化率
設置後にすべて使用開始しているため、100%となっている。

2. 老朽化の状況について

市町村整備型浄化槽整備事業の開始から10年程度であるため該当はないが、長期的には①に記載のとおり、経費の節減と計画的な維持管理が必要となる。

全体総括

事業開始から10年ほど経過、全国平均、類似団体平均値に満たない項目があるが、今後も計画的に安定した事業運営ができるよう努めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。